



2020年4月15日

各位

会社名株式会社シンクロ・フード
代表者名代表取締役兼執行役員社長 藤代真一
兼事業部長 (コード番号：3963 東証第一部)
問合せ先取締役兼執行役員管理部長 森田勝樹
(TEL. 03-5768-9522)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の当社連結業績動向を踏まえ、2019年5月15日に公表いたしました2020年3月期の業績予想を下記の通り修正いたしました。また、新型コロナウイルス感染症の飲食業への影響が甚大であること、終息時期が未だ不透明であることから、2018年5月10日に公表いたしました中期経営計画について、2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)計画を取り下げることにいたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2020年3月期 連結業績予想の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,250	百万円 690	百万円 690	百万円 439	円 銭 16.49
今回修正予想 (B)	2,010	540	540	275	10.33
増減額 (B - A)	△240	△150	△150	△164	—
増減率 (%)	△10.6	△21.7	△21.7	△37.3	—
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	1,787	687	687	438	16.42

(2) 2020年3月期の通期業績予想の修正理由

最近の当社連結業績動向および新型コロナウイルス感染症の飲食業への影響を主たる要因として、各予想数値を修正いたしました。特に2020年2月以降、新型コロナウイルス感染症の飲食業への影響は深刻化しており、人手不足を背景に成長してまいりました当社の主力サービスである求人広告サービスは、飲食企業の採用活動の停滞により、現時点において期初予想を下回る着地見込みとなっております。また、2020年3月期期初より積極的な人員拡大を行ってまいりましたが、その影響により販売管理費の増加を見込んでおります。加えて、当社の連結子会社である株式会社シンクロ・キャリアの業績が、紹介予定派遣事業から人材紹介事業への構造転換の遅れの影響により、当初想定していた計画を下回って推移したことから、監査法人と協議を行った結果、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、のれんの全額を減損処理し、減損損失約40百万円として、特別損失に計上することといたしました。以上のことから、連結売上高を2,010百万円(前回発表予想比10.6%減)、連結営業利益を540百万円(同21.7%減)、連結経常利益を540百万円(同21.7%減)、親会社株主に帰属する当期純利益を275百万円(同37.3%減)へ修正いたしました。

2. 中期経営計画の取り下げの理由

新型コロナウイルス感染症の終息時期が未だ不透明なことから、連結売上高 3,010 百万円、連結営業利益 1,107 百万円、とした 2021 年 3 月期の計画については取り下げることといたしました。なお、2021 年 3 月期の連結業績予想につきましては、現時点では合理的な業績予想の算定が困難であることから未定とする見込みです。

(注) 本資料に記載されている連結業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上